



校報 南の窓

校訓
友愛・克己・躍進



豊かな心日本一

爽やかな教育環境日本一

挨拶が飛び交う学校日本一

5組:修学旅行・6組:マリン実習 in OKINAWA

マリン体験では、シュノーケリングやバナナボート、遊泳などのアクティビティを通して沖縄の海を感じることができた。餌付け体験では、エサをあげはじめた瞬間にたくさんの魚が寄ってきた。一番驚きだったのが、海水の味が違うことだ。沖縄の海水は苦味がなく嫌な臭いもなかった。色々な所で沖縄の良さを感じることができた。

自主研修で学んだこと。計画通りに行動する難しさです。初めて行く場所だったので目的地に着くまでに時間がかかり、慣れない環境で行動するため時間に追われる場面もありました。集団で何かをすることの難しさを学びました。



修学旅行

で一番勉強になったのはこの平和学習でした。修学旅行に行く前から授業で学習していて、沖縄でどんな事があったかのかは理解していました。しかし、実際にその場所に行き、沖縄の地で亡くなってしまった人々の名前を見るだけでも、授業で学習した時よりもかなり心に響きました。

お昼はアメリカンビレッジのお店でステーキを食べました。200gのお肉をたのんで、ご飯も3杯おかわりました。とても美味しかったです。帰りは、雨に濡れて大変だったけど、国際通りでハンバーガーを食べました。お店の人がサービスでポテトをくれました。



平和学習。資料館では当時使われていた刀や銃があり、当時着ていた服などが展示されていました。印象に残っていることは、戦争中に撮られた幼い子供が亡くなっている写真を見たことで、見ていてとてもつらくなりました。沖縄で学んだことを次の世代にも伝えていきたいと思いました。

5組沖縄修学旅行・6組マリン実習行程

- 12/2(土)5・6組:〈盛岡-仙台-那覇〉……【万座毛】
名護市泊
- 12/3(日)5・6組:【マリン実習】-【美ら海水族館】
名護市泊
- 12/4(月) 5組:《那覇市内班別研修》
6組:【マリン実習】-《班別研修》
那覇市泊
- 12/5(火)5・6組:【平和記念公園-ひめゆりの塔】
……〈那覇-仙台-盛岡〉

朝陽があたった沖縄の海は透きとおっており、とても神秘的でした。ガイドさんの説明を受け、恐る恐る顔をつけた海にはたくさんの魚がゆうゆうと泳いでいました。その姿に圧倒され右手に持っていたはずのエサは魚にうばわれてしまいました。



私たちは首里城と国際通りに行った。首里城は、完成までまだ3年かかるらしいがそのほとんどがすでに直っていた。想像していたよりも門が大きく、坂は急で、そして何よりも高台から見た景色がとても美しかった。



平和記念公園で特に印象に残ったことは「平和の礎」といわれる沖縄戦争で亡くなった国内外のすべての人々に追悼の意を表す場所です。今の安全で自然豊かな沖縄があるのは、戦争で犠牲になった兵士や後世に伝えてくださった現地の人のおかげだととても深く思いました。

海がこんなにも大きいんだと感じた。また、これからもきれいな海や魚を守りには、私たちの生活を見直していき、海に害がないようにしないといけないと思った。



首里そばを食べた。そばうどんの中間くらいの食感。見た目はフィットチーネパスタを少し細くした感じ。味はかつお出汁のような海鮮からとったスープで、麺が特徴的でとても美味しかった。

マリン体験(実習)では、沖縄の海の美しさに深く感動し、珊瑚礁や海の環境を守るためには何が必要なのかということを考えるきっかけとなった。また、ひめゆり平和祈念資料館では、沖縄戦の悲惨さを感じると同時に、自分たちが平和であることの有り難さと二度と過ちを繰り返してはいけないことを生徒一人一人が実感していた。

沖縄の天候は、残念ながら雨時々曇りであったが、沖縄の史跡や伝統工芸、自然の見学、マリン体験(実習)や自主研修を通し、平和、国際理解、環境などに関して理解を深め、人の温かみなどを感じることができた。

4日間行を通して、仲間と協力する大切さや自己管理の重要性を認識し、怪我や体調を崩すものも出ず、有意義な修学旅行・実習となった。(引率責任者)

戦争という負の遺産に触れ、幸せを実感。部の遠征や大会では得られない“たくましさ”を身につけ岩手に帰ってきてくれたようです。

県立盛岡南高等学校 校報 南の窓
平成 27 年(2015)4 月創刊 文責副校長
<https://www2.iwate-ed.jp/mos-h>